



問題の根本を見抜き、社会の本質を見とす。

「チカラがつく」

Point 1

あなた独自の考え方を、発見・発信できる。

すべての学生が同じスタートライン

大学受験に関わる「地歴公民」の知識は有利に働きますが、基本的に「社会学」は大学入学後に、初めて体験することになる学問です。社会学とはどのような学問なのか、自分が学びたいことは社会学なのか、そういった疑問にお答えしたいと思います。

社会学とは…

自由な発想で
取り組める学問

社会学が何を研究対象とするのか、どのような考え方を
する必要があるのか、実は学問として統一された見
解はありません。非常に自由度の高い学問ではありますが、自由であるがゆえに「私は〇〇を研究したい、研
究せずにはいられない」という、明確な意志がとても
重要となってきます。



社会学とは…

互いに
理解し合う
ための学問

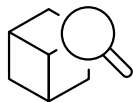
どれだけ自由であっても、研究成果を「私はこう思う」
と他者に押しつけるだけでは、一方通行の自己主張に
過ぎません。立正大学における学びでは、学生や教員
との「対話」を重視し、「対話」を通じて社会的な言
葉・論理を用いられるようになることで、立場や考え方
の異なる人と「相互理解」する力を養います。



社会学とは…

世の中の
当たり前を
疑う学問

社会学は私たちの「今」や「日常」が研究対象となりま
す。それは普段「当たり前」として誰もが看過している
ことに目を向けるということ。
こうした社会的な視点は、常識に縛られることのない「斜めから物事を考える」力となり、ゆくゆくは「あな
たにしかできない物の見方」を可能にします。



学びのキーワード

#メディアリテラシー #ジャーナリズム #都市の再開発 #地域再生 #犯罪社会学
#環境問題と保全 #少子高齢化 #家族の変容 #宗教社会学 #社会心理学

「チカラがつく」

Point 2

ゼロから学び、将来に生きる技能を養える。

✓ 社会学の基礎・土台から
学んでいく

まずは1年次に「社会的な考え方」「社会学における
調査」といった、社会学の基本的な特徴を理解して
もらいます。地域・情報・環境・宗教・犯罪・家族といった
専門領域についても学び始めることができますが、ま
ずは基礎と土台をしっかりと固めていくことに重きを
置いています。



✓ 社会学を自分の力・武器としていく

2年次からは「社会学」の実践的な学びを体験してもらいます。高校までは教員
の話を受動的かつ一方的に聞く授業スタイルが一般的ですが、立正大学では学
生自身が課題についての報告を行い、参加者および教員の全員で報告内容を吟
味・討論し、その課題に対する結論を導き出します。
この学びを通じ、対話・討論の作法や、社会的な思考力等、さまざまな業種、将
来に役立つ力を身につけることができます。



カリキュラム

卒業基準単位数: 124 教養的科目: 22 専門科目: 102

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	社会学の基礎と一般教養を学ぶ 4つの分野の基礎と、幅広い教養の知識を学修。「社会学の成立と展開」と「社会構造へのアプローチ」で専門知識の修得をめざします。	専門知識を修得し、実践学問のベースづくり 社会学のさまざまな分野の授業をとおして専門知識を修得。「社会学基礎演習」で実践的な学びの土台を構築します。	フィールドワークで学びと人間力を磨く 「社会調査実習」の学外でのフィールドワークでは学生同士が協力して取り組み、人間力も向上します。	研究の集大成を論文というかたちに 自分の問題関心に基づき問いをたて、社会学の理論を使い、分析考察をして論文を書き上げます。4年間の学びと知の結晶です。
必修科目	・社会学の成立と展開 ・社会構造へのアプローチ ・社会調査概説		・社会学専門演習1 ・社会学専門演習2	・卒業論文 ・社会学応用演習1 ・社会学応用演習2
選択必修科目	・社会学教養演習 ・社会学情報処理実習 ・統計学 ・理論社会学1 ・理論社会学2	・社会学基礎演習1 ・社会学情報処理演習2 ・基礎調査実習 ・調査データ処理 ・社会統計 ・質的調査法	・社会学調査実習1 ・社会学調査実習2	
		・社会学理論演習1 ・社会学理論演習2 ・社会学理論演習3		
		・コミュニティ・サービスマーケティング		
選択科目	・情報社会学 ・保健・経済の社会学 ・社会心理学 ・政治社会学	・ジャーナリズム論1 ・ジャーナリズム論2 ・環境社会学 ・環境社会学2 ・犯罪社会学1 ・犯罪社会学2 ・教養社会学	・地域社会学1 ・地域社会学2 ・宗教社会学1 ・宗教社会学2 ・都市社会学 ・現代都市論	・社会学助論 ・情報社会学 ・家族社会学 ・現代家族論 ・メディア・コミュニケーション論
		・集合行動論 ・相互作用の社会学 ・社会学特講1 ・社会学特講2 ・社会学特講3 ・社会学特講4 ・産業・労働の社会学 ・比較文化特講1 ・比較文化特講2 ・ジェンダーの社会学 ・地域社会学特講1 ・地域社会学特講2 ・文化人類学 ・情報社会学特講1 ・情報社会学特講2 ・アジア社会学		

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

「チカラがつく」

Point 3

あなたの興味・関心が、学びの集大成になる。

✓ 社会学ならではのアプローチとスキル

3年次からは社会学に不可欠となる「社会調査」の手法を学んでいきます。企画立案から始まり、準備・調査依頼・調査実施・データ処理・データ分析・報告書作成という一連の流れは、思考力、対話力、文章作成能力といった、さまざまな仕事で必要とされる力を鍛えてくれます。

また対象となる科目群を履修することで、社会調査の専門家である「社会調査士」の資格を取得することも可能です。



社会調査士の資格取得に必要な科目群

- 社会調査概説
- 統計学
- 基礎調査実習
- 調査データ処理
- 社会統計
- 社会調査実習

✓ “唯一無二”の研究テーマに挑める

3、4年次には「あなた自身の問題意識」をテーマにした研究の実践（卒業論文の作成）が始まります。

これまでに培われた社会学の知識と、あなたの興味がある世の中の疑問や課題をつなげ、大学生活の集大成としての「解答」を、学生同士・教員・調査対象者との対話によってつくり上げていきます。



VOICE

学生インタビュー



答えはひとつじゃないから、自分の可能性も広く考えられる。

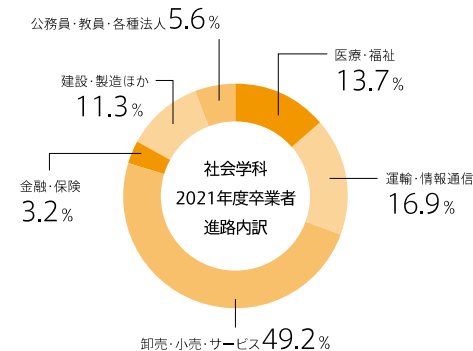
高校の時から現代社会の授業が好きだった私は、大学でも社会について学びたいと漠然と考えていました。しかし将来、実際の「社会」で働くことを考えた時、自分に必要な力は何か、そのために大学で何を学びたいのか、明確なものがなく困っていました。その時立正大学の「“当たり前”に疑問を持つ」「多角的な視点を持つ」という学びのスタイルが、自分のやりたいことや、成長したい姿をイメージさせるのにしっくりきたため、進学を決意しました。

授業では「若者の恋愛観」等、数多くのテーマで発表・討論を繰り返してきましたが、性別はもちろん、世代によっても考え方は異なるため、時には先生に真っ向から意見をぶつけることもあり、社会学の「自由さ」にどんどんハマっていきました。そんな立正大学で体験した「人と人の関わり」の大切さは、そのまま社会でも必要不可欠なものと感じ、将来は福祉の現場で、人のつながりを支える仕事ができたらと考えています。

文学部 社会学科 松戸市立松戸高等学校出身

社会学科独自の就職サポート

「社会学専門演習」および「社会学応用演習」クラスの担当教員による個別の対応がされており、卒業生を招いての「就活道場」や、4年生が下級生に就職活動の注意点を伝える「合同演習」等が実施されています。また演習クラスの担当教員と卒業生との継続的なつながりもあり、学生へのインターンシップ枠紹介や、卒業生の就職先企業紹介等も積極的にされています。インターンシップ後は教員による報告書の評価・添削を行っているため、社会学的な知見を活かしたサポート体制も万全です。



卒業論文テーマ

- 犯罪機会論から考える子どもの安全
- 日本における男女雇用格差の歴史社会学的考察
- メディアに見る炎上の構造
- 平成から令和にかけての結婚観の変遷
- 日本における「子どもの貧困」と教育格差の課題
- 自殺報道を考える
- 若者の人間関係
- インターネット依存の現状とその分析
- クラフトビールの多様性と飲酒文化の変化
- 現代日本における結婚の意味
- 現代社会のSNSにおける若者の「つながり」
- 日本の労働環境と第4次産業革命
- 「つながり」に依存する若者
- 聖地巡礼とまちの活性化
- メディアの変遷と音楽の多様化 ほか



免許・資格

- | | | |
|--|--|--|
| 【教員免許】
■ 中学校教諭一種免許状(社会)
■ 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
■ 高等学校教諭一種免許状(公民)
■ 学校図書館司書教諭 | 【専門職】
■ 社会調査士(認定資格)
■ 博物館学芸員(任用資格)
■ 図書館司書 | 【行政職】
■ 社会教育主事(任用資格)
■ 社会福祉主事(任用資格)
■ 児童福祉司(任用資格)
■ 児童指導員(任用資格) |
|--|--|--|

詳しくはP.16～P.18へ



進路・将来像

- | | |
|---|---|
| ■ 広告関連企業
■ 放送関連企業
■ 出版関連企業
■ 情報関連企業
■ コンピュータ関連企業
■ 民間企業全般
■ NGO
■ NPO調査部門
■ 官公庁調査部門 | ■ 公務員
■ 中学校社会科教諭
■ 高等学校地理歴史科教諭
■ 高等学校公民科教諭
■ 学校図書館司書教諭
■ 社会教育主事
■ 社会福祉主事
■ 博物館学芸員
■ 図書館司書 等 |
|---|---|

詳しくはP.34へ